

第3回WGでの主なご意見

第3回 分野横断的技術政策WGにおける主な意見等

①－ 1 民間の技術開発の機運を高めるために国土交通省に求められる役割

- 建設業界はスタートアップ企業の参入が少なく、原因としては技術開発に必要なニーズが見えづらいことが考えられる。政府は何が課題であるかを見えやすくし、参入しやすい仕掛けを作っていくべき。
- 民間の技術開発の機運を高めるための政府の役割は、生産性向上のために技術開発をするというビジョンを明確に発信すること。
- 研究開発に対する支援については、複数の省庁による様々な研究開発の費用を一元化し、研究から現場実装へ円滑な橋渡しができる体制をとれば無駄な資源配分も起きなくなるのではないか。
- AMEDは基礎から臨床に至る各ステージに応じた公募が事業一覧の中で示されており、全体の方針が申請者にとって分かりやすく、申請者が研究の立ち位置を認識しつつ、説明が可能となる。これは、予見性を高める上で、情報の共有が重要であるということだ。
- 民間の研究開発を促進するために、国は財政支援により強化領域に誘導することが必要だ。

①－ 2 協調して技術開発するために必要な仕組み

- 協調領域については重複する投資を避け、得られた成果を全体で共有し、それ以外の領域で競争するというビジョンをどう描けるかが課題。協調は競争のために存在する。

②新技術活用の上リスクマネジメント

- 医療機器の分野におけるPMDAのような安全や承認に関わる業務を取りまとめる機関の存在は、建設業の技術開発におけるリスク管理に関する問題を解決するにあたり参考となる。
- 技術の保証に関しては、公的機関が認定権者として責任を負う仕組みにすれば進み方が促進されるのではないか。
- 技術開発にはパイロットプロジェクトの設定と性能発注が必要。性能発注には何がリスクになりえるかを発注側も認識することが必要で、そのリスクの管理および分担が十分にできれば技術開発にも攻めの姿勢を持つことができる。